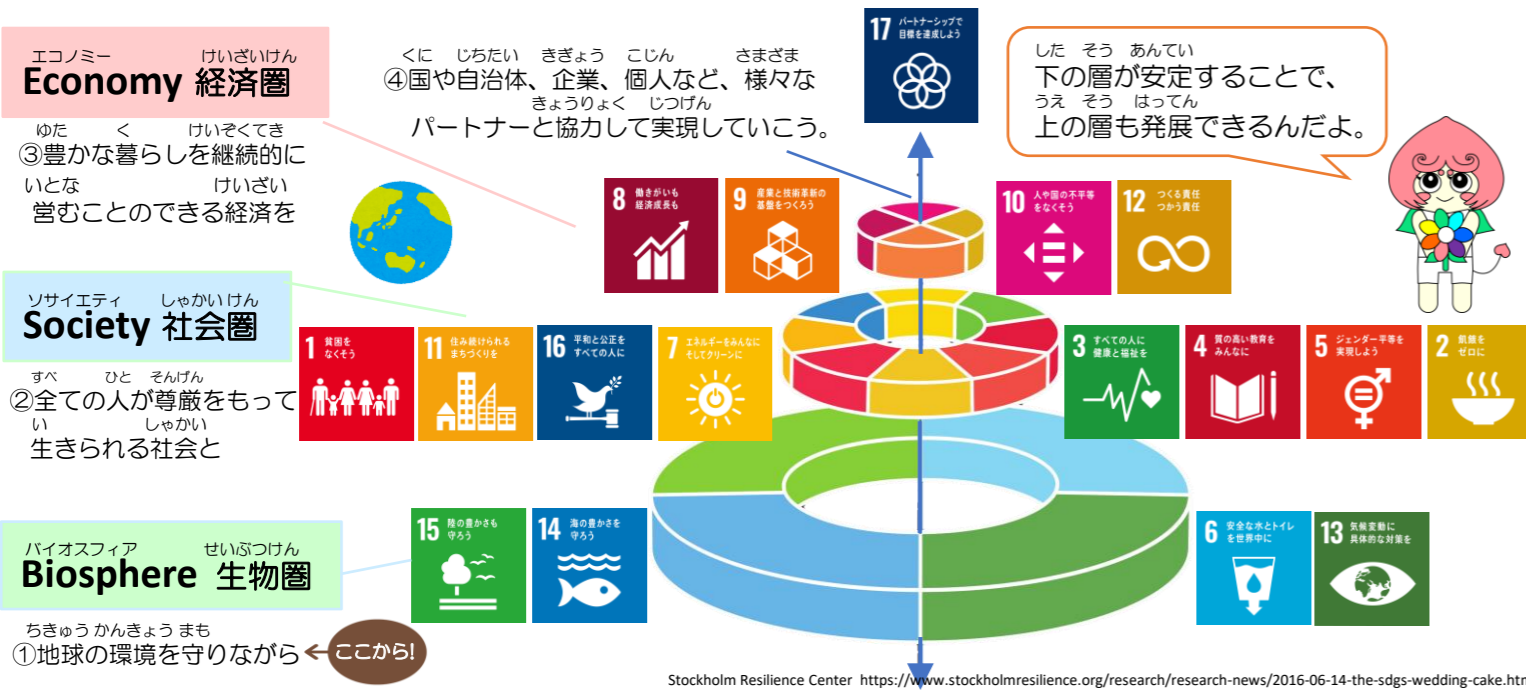


17の目標をわかりやすく② ウェディングケーキモデル

ウェディングケーキモデルは、SDGsの17の目標を3つの階層（環境/社会/経済）に分け、それらの密接な関わりを表します。スウェーデンにあるストックホルム・レジリエンス・センターが考えました。



Check 支援センター事業
「地域資源を活かそう」



昨年12月1日、伊達市市民活動支援センターの今年度自主事業・イベント『地域資源を活かそう』を開催しました。保原町で保存されているチンチン電車を具体例に、地域資源（ヒト/モノ/情報）の掘り起こしやコーディネート、実践的な利活用について考える内容です。

当日は22人（オブザーバー4人含む）が参加。講師：市岡綾子先生（日本大学工学部建築学科）の講演、ゲスト：安斎武さん（「路面電車を偲ぶ会」）のお話に続いて、ワークショップでは「チンチン電車の楽しみ方」を自由に考え、発表しました。



ワークショップは、電車愛と地元愛で大いに盛り上がり、たくさんの夢とアイデアが語られました。

この機会に得られた気づきや思い、人的つながりをベースに、何が生み出されるか…？今後が楽しみです。

伊達市市民活動支援センターHPで、市岡先生の講演資料とワークショップまとめを公開しています

伊達市市民活動支援センター

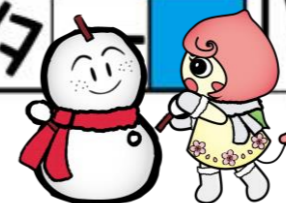
〒960-0756 <http://www.date-civilsupport.jp/>
 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
 伊達市役所梁川総合支所庁舎3階（4階に仮移転中）
 TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
 E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
 毎週月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
 ※木曜日は午後7時00分まで

市内の地域自治組織が発行する地区広報誌を保存・公開しています。



だってちゃん、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センター NEWS



2023 冬号

2023 (令和5)年 1月発行 vol.53
 企画・編集
 伊達市市民活動支援センター
 〒960-0756
 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
 伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
 ↑3/16地震で被災し4階に仮移転中です
 TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
 E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
<http://www.date-civilsupport.jp/>

市民活動 いろは
教えて！だってちゃん

Q. NPOとNGOはどう違うのですか？

A. 非営利かつ非政府の団体という点では実質的に同じ。立場に応じて使い分けています。

NPO (えぬぴーおー) は Nonprofit Organization の略称で、直訳すると「非営利組織」です。他方、NGO (えぬじーおー) は Non-governmental Organization の略称。「非政府組織」という意味で、もともとは国連の場において「政府以外の関係組織」を示すのに使われていた言葉が広まったものです。

NPOとNGOは、社会的な使命を達成することを目的とする点で共通し、並存します。つまり、ある団体が必ずどちらかに分類される、というものではありません。日本では、営利を目的としないという点を重視する場合にはNPO、政府とは異なる民間の立場を重視する場合にはNGOという呼称が多く用いられています。

【外務省HPより】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/kyoumi/faq02.html

貧困、飢餓、環境など、世界的な問題に対して取り組む市民団体であればNGOと呼ぶことができます。法人組織として立ち上げるためには特定非営利活動法人（NPO法人）もしくは公益法人（一般社団・財団法人、公益社団・財団法人など）などの法人格を取得する必要があります。

なるほど！
NPO法人のNGOもあるんだね。



伊達市市民活動支援センターHPで、地区広報誌「栗野地区交流館だより」をご覧ください→



栗野地区自治会

伊達市梁川町二野袋字昭和2-1
 (栗野地区交流館)

栗野地区 (23行政区)
 ・人口: 1,874人
 ・世帯数: 664
 (2022年11月現在)

だてな活動

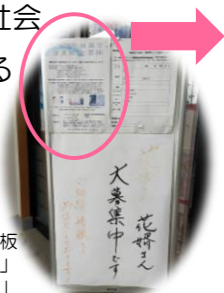
学校、スポーツ、そして婚活

栗野地区の中心は、何といても栗野小学校。自治会は学校行事や体験活動、グラウンド整備などで協力し、学校も地元を頼りにしてくれています。また、栗野は昔からスポーツが盛んな地区で、旧梁川町時代は各種大会の優勝を総なめにしたものでした。近年は若年人口が少なくなり、コロナ禍のもと、団体スポーツは以前より難しくなっていますが、住民の健康促進はもとより、スポーツを通じて育まれる絆は地域を支える力でもあります。今年は交流館に運動器具やマッサージ器などを置いて、誰でも利用できる運動と交流の場として開放しています。さらに、特に栗野地区らしい活動として、地区住民の婚活支援があげられます。

地域イチオシ！を紹介します

婚活支援は2016年に始まり、これまでに5組が成婚しています。きっかけは消防団に独身者が多いと気づいたこと。消防団には、仕事で活躍する傍ら、地元での社会貢献も怠らない、いわば地域のイチオシが集まっています。良き伴侶を得ることで、ますます活躍してもらいたと思います。地区在住ではなくても、栗野に移住を希望される方であればご登録いただけます。地区内外の皆さんからのお問合せ、ご相談をお待ちしています。

チラシ「栗野婚活希望者と御指南さま募集！」



栗野婚活希望者と御指南さま募集！

栗野地区で結婚を望んでいる方、真剣に婚活を求めている方へ
 婚活支援として、ご自身の婚活をサポートします。
 婚活支援として、ご自身の婚活をサポートします。
 婚活支援として、ご自身の婚活をサポートします。

「花嫁さん 花婿さん 大募集中です」
 「ご相談、情報をお待ちしております」

交流館入口立て看板
 (024-573-2261 栗野地区交流館 八巻)

4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを

だてな活動

わくやサロン

伊達市月舘町布川西原17



和久屋百貨店～わくや～わくやサロン

月舘町に和久屋百貨店が開店したのは明治20（1887）年のこと。私は4代目にあたります。文具、学用品を中心に雑貨店「わくや」を切り盛りしてきましたが、2020年の月舘小学校閉校を機に閉店することにしました。5代目（福島市在住）がOA機器取り扱いなどの事業を継承し、「わくや」自体は存続させましたが、長年地域と共にあった店を閉め、そのままというわけにもいかないと思い…!! 店はもともと「まちの駅ネットワーク伊達」に参加して、誰でも利用できる情報案内、休憩場所として開放していました。店ではなくなっても、気軽に立ち寄りもらえる場であり続けたい。まちの駅の役割を果たすとともに、イベントや教室なども開催できるようにしようと考えました。それが今の「わくやサロン」です。

地域を楽しませる交流スペース

わくやサロンはカラオケや楽器演奏、講座など、様々な目的で使われています。去年はサロンで大正琴教室を開催しました。体験教室の参加から始めた10名の生徒さんが、習い事として教室に通うようになっていきます。「良い事は実行する」というのが私のモットーであり、皆さんにその良さをわかってもらえると何よりも嬉しく思います。立ち寄り大歓迎。わくやサロンにぜひ足をお運びください。（024-572-2616 齋藤）



2018年 コラッセふくしま
写真・イラスト展テブカット

路面電車を偲ぶ会

伊達市/福島市

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを

だてな活動

お世話になった路面電車

昭和46（1971）年、福島駅から長岡分岐点（伊達町）、保原、梁川、掛田を繋ぎ、地域の交通機関の主役として活躍した福島交通軌道線が廃止されました。明治時代からお世話になった電車の歴史を伝え残したい。感謝の思いを胸に、約20年前から路面電車の写真展を開いています。退職後に一人で始めた活動ですが、電車好き、写真好きの輪がどんどん広がり、元福島交通の社員も交えて多くの仲間ができました。伊達市内や福島市内で、年5～10回程度写真展を開催しているほか、紙芝居の上演や語り部としての活動も行います。たくさんのお客さんに喜んでもらえることが私たちの励みになっています。

路面電車はこれからも…

路面電車を知る世代も高齢化が進んでいます。廃線50年を機に活動を停止する話も出ましたが、往時を懐かしむお客さんの引き合いは強く、有志で気楽に続けることにしました。現在、伊達市内には2両の路面電車が残っていますが、これは大変貴重なことです。路面電車にはこの地域の歴史と物語が詰まっているからです。まだまだ活躍させることができます。かつて人が集い、賑わいの

中心にあった路面電車が、今、また人が集う場となり、町の新たな魅力になることを期待しています。（090-3123-7189 安齋）



← 伊達市市民活動支援センターHPでも「路面電車を偲ぶ会」を紹介しています 代表 安齋 武さん



3 すべての人に健康と福祉を

だてな活動

Boxing & Fitness 伊達

伊達市保原町字宮下111番地4
（保原体育館トレーニングハウス）

保原町とボクシング

1995年に第50回国民体育大会（ふくしま国体）のボクシング会場になった保原町には、その5年前からボクシングクラブがありました。保原町含む伊達郡旧町から、老若男女問わず多くの会員が集まり、楽しく汗を流していたそうです。その後継である私たちは、ボクシングを通じて心身を鍛え、地域のスポーツ振興に役立つとともに、交流の機会を提供することにより地域を元気にしたいと考えています。現在は、伊達市を中心に伊達郡、福島市から約80名の会員が参加しています。仕事帰りの社会人が主ですが、学生も入っています。



楽しくボクシング・理想のカラダに・健康になる

ボクシングというと、殴られるのが怖い、練習がハード、雰囲気ギリギリしている…といったイメージを持ち、ハードルの高いスポーツのように感じる方もいるかもしれませんが。私たちは、楽しくカラダを動かすことを第一に、ストレス発散、ダイエット、健康促進など、個々人の体力や目的に合わせた練習を行っています。初心者にも基本から丁寧に教えます（ほぼ全員が初心者から始めています）。練習は月、火、木、土曜日18:30～21:30。



見学、体験も随時受け入れていますので、ぜひ一度見に来てください。
（お問い合わせ等HP参照ください 松浦）
<https://tmkom9186.wixsite.com/boxing-fitness-date>



こちらのQRコードからアクセスできます→

4 質の高い教育をみんなに
3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを

だてな活動

特定非営利活動法人 りょうぜん楽しもう会

伊達市霊山町掛田字中町10-1
掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）

健康で楽しく幸せに暮せるまちづくり

2022年
クリスマスコンサート

私たちの法人は、2014年、霊山町掛田を中心とする地域の魅力の発信とまちの賑わいづくりを目的に設立されました。翌2015年からは、市の委託を受けて掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）の運営に携わり、健康で楽しく幸せに暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

まちにこれからも賑わいを

昭和50年代には130店舗を構えていた掛田商店街ですが、今では20店舗にまで減ってしまいました。霊山町の中心として寂しい限り。そんな中ですが、私たちは、町内はもちろん町外の皆さんにも気軽にご利用いただけるように、ヨッテミでコーヒー等飲物の提供やイベントを実施しています。ヨッテミは、チャレンジショップやオレンジカフェ（認知症カフェ）、展示会やコンサートの場として様々な活用されています。これからの霊山が少しでも元気になれるように、スタッフ一同で話し合いながら、皆さんと共に歩んでいきたい

と思います。ぜひお越しください。（024-572-3765）

掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ） 湯川



← 伊達市市民活動支援センターHPでも「りょうぜん楽しもう会」を紹介しています 写真展 掛田の昭和

